

平成25年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	シップリサイクルに関する総合対策		担当部局庁	海事局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	H19～		担当課室	船舶産業課		課長 大坪 新一郎		
会計区分	一般会計		政策・施策名	9 市場環境の整備、産業の生産性向上、消費者利益の保護 36 海事産業の市場環境整備・活性化及び人材の確保等を図る				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	船舶の解体(シップリサイクル)に係る安全確保及び環境保全のための新条約「2009年の船舶の安全かつ環境上適正な再生利用のための香港国際条約(仮称)」が2009年5月に採択されたことを受け、同条約の早期発効に向け、国際海事機関(IMO)における関連ガイドラインの策定、国内における条約執行体制の整備等を推進し、もって国際的な安全で環境に優しいシップリサイクルシステムの構築を図る。また、世界に先駆けて先進国型シップリサイクルシステムを構築し、国内における大型船のリサイクルを促進する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国際会議において、条約に関連するガイドラインの採択をするともに、先進国に求められる安全・環境レベルを維持しながら事業として成立するための効率的な解体手法及び工程管理手法の確立や地域の自主的な事業参入を可能とするための事業運営スキームを検討し、国内外における指針等の策定を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	299	-	-	-	-	
		計	309	19	19	13	12	
	執行額	308	16	16				
	執行率(%)	99.8%	85.9%	83.2%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	本施策は条約の早期発効に向けたものであるため、成果目標及び成果実績を定めて実施するという性質のものではない。		成果実績		-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	本施策は条約の早期発効に向けたものであるため、活動指標及び活動実績を定めて実施するという性質のものではない。		活動実績 (当初見込み)		-	-	-	-
					( )	( )	( )	( )
単位当たりコスト	-		算出根拠	-				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	(本省)							
	諸謝金	1	1					
	職員旅費	4	4					
	委員等旅費	0	0					
	海事産業市場整備等推進調査費	8	7					
	(地方)							
	海事産業市場整備等推進調査費	0	0					
計	13	12						

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	条約の早期発効に向けた取組や指針の策定など国が主体となる事業について実施した。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	事業の実施にあたり、事業計画を厳密且つ公平に審査し、合理的な執行を行った。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	当初予定していた活動目標と同程度の成果を得た。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	外部支出は、調査内容について公平な審査を行い、予算を効果的に執行した。今後も、調査内容を精査するなど、効率的かつ効果的な予算執行に努める。					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	平成25年度予算において、調査内容等の大幅な見直しを行い予算の圧縮を図った。引き続き、事業効果を明確化した上で、効率的な予算執行を図るべきである。					
	所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
縮減	所見を踏まえ、調査内容を精査し、効率的な予算執行を図っている。					
	備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	352	平成23年	327	平成24年	338

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

国土交通省  
16百万円

旅費、謝金、委員等旅費  
4百万円

国内における先進国型のシップリサイクルシステムを確立する



【 一般競争入札 】

A. (株)日本海洋科学  
12百万円

国際的な廃船市場と国内のスクラップ鉄市場の動向調査を行うとともに、その影響を考慮した事業として成立するためのスキームの提案及び事業性の評価等を実施

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位:百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.(株)日本海洋科学			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	調査実施人件費	7			
旅費	調査実施旅費	1			
その他	物品購入費、一般管理費等	3			
計		11	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)日本海洋科学	シップリサイクル事業における事業性評価及び市場動向調査	11	1	100%
2	—	—	—	—	—
3	—	—	—	—	—
4	—	—	—	—	—
5	—	—	—	—	—
6	—	—	—	—	—
7	—	—	—	—	—
8	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—